

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	670 東海自然歩道管理経費	会計	01	一般会計
		款	07	商工費
		項	01	商工費
基本 施策	44 資源ともてなしの心を活かし、観光を振興する	目	03	観光費
		細目	102	観光施設維持管理事業
		細々目	02	東海自然歩道管理経費
行革大綱の重点事項番号				
担当部署	コード	191400		担当者 氏名
	名称	商工労働観光課		
		連絡先	43 - 2309	(内線)

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	東海自然歩道利用者	※対象件数
成果(どうする)	東海自然歩道利用者が安全、快適に利用できる。	
根拠法令・要綱等		
開始年度/平成	年度	関連事業
終了年度/平成	年度	
H21 事業 内容	県から委託を受けた東海自然歩道区間のパトロールと除草作業の委託 ・パトロール業務委託…委託区間 53.6km パトロール員8名 パトロール延べ日数88日 ・清掃草刈業務委託…草刈実施区間25.2km×2巡 ・便所清掃業務…3箇所 548回 ・設置看板修繕…1箇所(玉滝地区)	
社会情勢 の変化等	東海自然歩道のサインが古くなってきており、県へ改修要望を出しているが、予算の都合で改修が進んでいない。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
東海自然歩道パトロール業務委託	人	目標	8	8	8	8
			実績	8		
東海自然歩道草刈清掃等業務委託	件	目標	6	6	6	6
			実績	6		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
東海自然歩道利用可能状況(利用可能日数の割合)	%	適正な維持管理により年間を通した歩道利用を可能にすることを目標に、その日数割合を成果指標とする。利用可能日数/365日	目標	100	100	100	100
			実績	100	100	100	100
	回		目標				
			実績				

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
直接事業費計(A)	2,558	2,668	2,748	2,748				
Aの財源内訳								
国庫支出金								
県支出金	2,233	2,421	2,384	2,384				
地方債								
その他	0	0						
一般財源	325	247	364	364				
事業投入人件費(B)	0.1人	0.1人	0人	0人				
フルコスト(A)+(B)	3,278	3,388	2,748	2,748				

事務事業の評価(Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	○
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	○
有効性	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
	価値観の多様化、ライフスタイルの変化により、豊かな自然に親しみ健康で充実した余暇を求めるニーズが高まってきており、市内にある東海自然歩道を快適・安全に利用していただくため維持管理、パトロールは必要である。	○
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合は、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
	自然歩道の安全と快適な利用に支障をきたす。	○
	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い	○
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
	当初設定した計画を 100% 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
効率性	予算の繰越の有無	無
	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	○
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	施設の維持管理については、パトロール等により老朽化した箇所や損傷した箇所を早期発見、修繕等に努め極力経費を削減する。
【状況】	計画のとおり進んでいる
【詳細】	
昨年度の取組状況	適正な維持管理を行い観光客の安全性・利便性・快適性を確保することができた。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	松本 浩典
【方向性】	現状維持
【理由】	
事業の方向性	市内にある東海自然歩道を快適・安全に利用していただくため維持管理、パトロールを適正に行い、老朽化した箇所や損傷した箇所を早期発見、修繕等に努め極力経費を削減する。
現時点における課題、その他	経年劣化等により年々修繕を要する箇所が増えてきており、県に修繕要望を行っているが予算措置が難しい状況である。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	観光客の安全性確保のため引き続き、適正な維持管理、パトロールに努め、県への報告・修繕要望を行っていく。